



平成 23 年 12 月 13 日
内閣府（防災担当）

国際会議「東日本大震災に関する専門家会合～巨大津波災害の教訓に学ぶ～」 の開催について

3月11日に発生した東日本大震災に際して、我が国は世界中から多大なる支援を受けました。「東日本大震災からの復興の基本方針」においても、「世界に開かれた復興」に向けて、海外の防災関係専門家を招聘した専門家会合等を開催し、災害の経験や復興の過程で得た知見や教訓を共有することとされています。これを受け、内閣府では、関係諸機関とともに、アジア・太平洋地域各国等の政策担当者を招いた専門家会合を下記により開催します（本年5月に続く第2回目の開催）。

この会合では、中央防災会議「東北地方太平洋沖地震を教訓とした地震・津波対策に関する専門調査会」の最終報告（9月28日）の内容等、大震災を踏まえた我が国の防災対策の見直し動向や各国における取組等について意見交換を行うとともに、東日本大震災の被災地である岩手県沿岸部を視察し、今後のアジア・太平洋地域における防災対策の強化に向けた課題や協力体制について検討します。

記

- 1 日程：**（専門家会合）平成23年12月16日（金）～12月17日（土）
（被災地視察）平成23年12月18日（日）
- 2 場所：**（会合会場）ヴィラフォンテーヌ汐留（港区東新橋1-9-2（汐留住友ビル内））
（被災地視察）岩手県宮古市、釜石市
- 3 主催：**内閣府、国際協力機構（JICA）、国連アジア太平洋経済社会委員会（UNESCAP）、アジア防災センター（ADRC）
- 4 プログラム：**別紙参照
- 5 使用言語：**（全体会合）英語及び日本語（同時通訳）
（分科会）英語
- 6 取材について**
 - ・取材には事前登録が必要です。別紙2に必要事項を記載し、12月14日（水）18:00までにFAX送信にて御登録ください。
 - ・全体会合、分科会とも傍聴・撮影可能です。ただし、会場スペースの都合により記者席は用意できません。特に分科会は、会場が狭いため、参加者の妨げにならない範囲で、手持ちにて撮影できるカメラを御使用ください。
 - ・被災地視察は、取材可能です。移動手段等については各自手配ください。また、被災者のプライバシーに配慮した取材を行ってください。

<本件問い合わせ先>

内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（災害予防担当）付
内容について：村上（むらかみ）、水島（みずしま）、橋詰（はしづめ）
取材申込について：石丸（いしまる）、和田（わだ）、折戸（おりと）
TEL 03-3501-6996（直通）、FAX 03-3597-9091

**国際会議「東日本大震災に関する専門家会合～巨大津波災害の教訓に学ぶ～」
プログラム****【専門家会合】**

12月16日（金）

14:00-17:00 全体会合 I

（同時通訳あり）

主催者挨拶：内閣府、JICA、UNESCAP、アジア防災センター

基調講演（中央防災会議専門調査会報告について）：

河田 恵昭 関西大学社会安全研究科長・社会安全学部長・教授

特別報告：野田 武則 岩手県釜石市長

海外からの報告：

ソー・アウン ミャンマー労働社会福祉省救済・復興局長

黒岩 宏司 世界気象機関熱帯低気圧計画課長

17:20-18:50 分科会 I ※詳細は次ページ

（英語のみ）

①防災教育・早期警戒

②インフラストラクチャ・社会のレジリエンス

③被災者支援、復旧・復興

12月17日（土）

9:00-10:30 分科会 II ※詳細は次ページ

（英語のみ）

①防災教育・早期警戒

②インフラストラクチャ・社会のレジリエンス

③被災者支援、復旧・復興

10:50-12:15 全体会合 II

（同時通訳あり）

分科会意見集約結果発表

質疑応答

閉会挨拶：内閣府

【被災地視察】

12月18日（日）

11:00-11:30 宮古市田老地区防潮堤視察

11:30-14:00 昼食及び移動（宮古市～山田町～大槌町～釜石市）

14:00-14:30 釜石東中学校周辺視察

14:30-15:40 移動

15:40-16:25 釜石市平田公園内仮設住宅視察

※時間はあくまで予定であり、当日の進行状況等により変更することがあります。

分科会発表詳細

※発表・討議はすべて英語で行います。同時通訳はありません。

【分科会①：防災教育・早期警戒】

- 12月16日 1) イントロダクション (UNESCAP)
17:20-18:50 2) 発表
内閣府による被災地避難実態調査について 内閣府(災害予防)専門官 水島豪士
コミュニティレベルの避難調査について 東京大学 後藤洋三
陸前高田市での避難行動に関する分析 ESCAP 防災課 澤井麻里
津波警報システムの改善について 気象庁地震火山部地震津波監視課
津波予測モデル開発推進官 尾崎友亮
- 3) 討議 (ファシリテーター UNESCAP 防災課長 小野裕一)
4) まとめ (UNESCAP)
- 12月17日 1) 議論の振り返り (UNESCAP)
9:00-10:30 2) 発表
国際社会における津波警報体制について UNESCO シニアアドバイザー 山本雅博
太平洋地域における早期警戒通信について Pacific Telecommunication (PITA) 理事長
Ivan Fong
防災意識・防災教育プロジェクトについて 台風委員会事務局長 Olavo Rasquinho
- 3) 討議 (ファシリテーター UNESCAP 防災課長 小野裕一)
4) 意見集約 (ファシリテーター UNESCAP 防災課長 小野裕一)

【分科会②：インフラストラクチャ・社会のレジリエンス】

- 12月16日 1) イントロダクション (ADRC)
17:20-18:50 2) 発表
東日本大震災からの復興に関する政府の取組み 国土交通省総合政策局国際建設管理官 安田吾郎
情報通信技術を活用した防災について 総務省情報通信国際戦略局国際交渉専門官
飯田陽一
東日本大震災の教訓の国際的な共有 世界銀行東京事務所 上席防災管理官 石渡幹夫
アジア開発銀行と災害リスクマネジメント アジア開発銀行地域・持続開発局 光橋尚司
- 3) 討議 (ファシリテーター ファシリテーター ADRC 所長 是澤優)
- 12月17日 1) 議論の振り返り (ADRC)
9:00-10:30 2) 発表
2011 洪水における課題 ランシット大学工学部長 Seree Supratid
洪水対策分野での気候変動リスク及びその対応
フィリピン公共事業道路省治水砂防技術センター技官 Dolores M. Hipolito
JICA のチャレンジ ～アジアの巨大災害の経験から～
国際協力機構地球環境部防災第二課 南谷太一
- 3) 討議 (ファシリテーター ファシリテーター ADRC 所長 是澤優)
4) 意見集約 (ファシリテーター ファシリテーター ADRC 所長 是澤優)

【分科会③：被災者支援、復旧・復興】

- 12月16日 1) イントロダクション (国際復興支援プラットフォーム事務局 (IRP))
17:20-18:50 2) 発表
東日本大震災における海外支援の受入れ 内閣府 (防災担当) 参事官補佐 村上威夫
東日本大震災における復興計画策定と関係事例について IRP 上席復興専門官 川脇康生
東日本大震災からの教訓について 神戸大学都市安全研究センター長・教授 田中泰雄
国際社会の復興に関する優良事例
・ハイチ、インドネシアにおける UNDP の復興活動について
UNDP 予防・復旧局 Hossein Kalali
・近年の災害における復旧・復興活動について
アメリカ合衆国連邦緊急事態管理庁 (FEMA) 応急対応・復興担当副長官
William Lee Carwile
- 3) 討議 (ファシリテーター IRP ナレッジ・マネジメント担当官 Sanjaya Bhatia)
- 12月17日 1) 議論の振り返り (IRP)
9:00-10:30 2) 発表
UNDAC と UNOCHA の東日本大震災への緊急対応における教訓について
UNOCHA アジア太平洋事務所 Sebastian Rhodes Stampa
東日本大震災への緊急対応における NGO の役割について
ジャパン・プラットフォーム事務局長 椎名規之
東日本大震災への救援と復旧活動について 日本赤十字社国際救援課副課長 藤枝大輔
日本赤十字社国際救援課プログラムオフィサー 栢林直子
- 3) 討議 (ファシリテーター 神戸大学都市安全研究センター長・教授 田中泰雄)
4) 意見集約 (ファシリテーター 神戸大学都市安全研究センター長・教授 田中泰雄)

(ファクス返信用紙)

別紙2

内閣府政策統括官(防災担当)広報担当行 (FAX 03-3597-9091)

国際会議「東日本大震災に関する専門家会合
～巨大津波災害の教訓に学ぶ～」
報道関係者登録票

会社名			
担当者			
連絡先	電話		
	FAX		
参加日時 来訪人数	名	月 日	: ~ :
	名	月 日	: ~ :
取材内容	カメラ(ムービー) / カメラ(スチール) / 撮影なし		

※専門家会合の際は、会場にて受付の上、係員の指示に従ってください。

※被災地視察の際は、腕章を着用の上、係員の指示に従ってください。

※会場スペースの都合上、取材者全員について登録をお願いします。(フルネームをお願いします。)

※12月14日(水)18:00までに登録してください。